

大野 忠之

生活環境常任委員会 委員

「ありがとうございます」

大野忠之事務所

〒238-0024 横須賀市大矢部 3-1-3

TEL : 046-838-6571 FAX : 046-838-6573

URL : <http://www.ohno-tadayuki.com>



パンフレット回収負担に質問集中

平成26年第2回横須賀市議会定例会が、6月10日から27日まで開かれました。今定例会では、吉田雄人市長が会長を務める三浦半島観光連絡協議会が作成・配布したパンフレットについてと、市が4月にスタートさせた市内ゆかり製品の優先調達制度について、一般質問や委員会の場で質問が集中しました。

三浦半島観光連絡協議会は、半島全体の活性化に取組む目的で、鎌倉・逗子・三浦・葉山・横須賀の4市1町の首長で組織されました。昨年10月の初会合で、三浦半島のサイクリングコースにシヨップ情報や観光案内を加えたパンフレット「自転車半島宣言」の作成を決め発行。5月から京急の川崎・横浜駅や地元公共施設等で配布を始めましたが、直後に道路交通法に違反している写真が複数載っていると指摘を受け急遽回収し、修正シールを貼って再交付するものとなりました。問題視されているのは、会長である吉田市長が回収やシールの経費約40万円を業者ではなく協議会の各自治体負担にしている点、そもそもパンフレットの受託事業者として実績のない、しかも吉田市長の後援者がいるNPO法人と随意契約を結んだ点などです。これは鎌倉や三浦の市議会でも取り上げられ、各自治体とも「横須賀市と協議したい」と回答。これまで頑なだった市長も協議に応じざるを得ない状況になっています。

また、市内ゆかり製品の優先調達制度は、市内で完成品を生産している岡村製作所、ケープ、JVCケンウッド、東芝ライテック、日産自動車の5社製品を市が購入する際には優先するもので、市長の政策的判断で導入されました。これについて、市長が1割以上割高でもゆかり製品を購入するとしていることに「高額でも優先させるというのは納税者としては納得できない」など即刻廃止を求める声が多方面から上がり、今月初旬には特約店が1店舗のみで競争性が担保できないと岡村製作所を対象外にするなどさまざまな露呈。それでも市長は「1年間は試行したい」としています。

前号アンケートより

要望・意見に対する回答

要望／街の活性化や人口増対策として、企業や大型店の誘致、イベント誘致などを積極的に進めてほしい。また、それらの早期実現が可能になるような規制緩和も図ってほしい。大野／ここにきて市内ではスーパーマーケットを中心とした出店が相次いでいます。6月には、平成町に家電量販店のノジマを核とした複合施設がオープン。スーパー三和やサンドラッグ、トイザらス、しまむらが入っています。また久里浜では来春のオープンに向けてヨークマートの建設工事が進んでいます。一方、大型マンション建設も続いており、大滝町の西友が入っていたビルの跡地に建設中の「ザ・タワー横須賀中央」は、商業フロアを含め総戸数297戸を分譲し、平成27年9月に完成予定。同じく27年9月に入居開始予定で若松町に建設中の「サンコリーヌタワー横須賀中央駅前」は総戸数280戸で、両施設とも販売は順調のようです。さらに、西浦賀にもマンション8棟やホテル、チャペル、商業施設などを含んだ大規模な開発事業が計画されていることも、先の3月定例会の私の代表質問に対する市長答弁で明らかになっています。【裏面に続く】